

**ライブ  
配信\***

新任役員・次世代経営幹部のための  
エグゼクティブ・プログラム

# 新任取締役・執行役員セミナー2026

～企業価値向上を実現するリーダーの役割とマネジメント～

**時間** すべて 10:00～17:00 **対象者** 取締役・執行役員(特に新任の方におすすめします)・次世代経営幹部候補者

**※ライブ配信とは**

大阪のセミナー会場で開催しているSMBCビジネスセミナーをリアルタイムでライブ配信するオンラインセミナーです。

2026年8月3日(月) 2027年2月17日(水)	2026年8月4日(火) 2027年2月18日(木)	8月5日(水)	2026年8月6日(木) 2027年2月19日(金)
<b>経営戦略</b>	<b>コンプライアンス・法律</b>	<b>決算書の読み方と分析</b>	<b>会計と意思決定</b>
前例が機能しないビジネス環境の中、どう戦略をたて、実行すればいいのか?	新任取締役に必須の法律の基礎知識を完全マスター	今さら聞けない・決算書って何を見て、どう分析すればいい?	役員として事業や設備の投資・撤退など意思決定をどう行えばいいのか?
<b>競争優位を築く 経営戦略</b>	<b>取締役の責任と コンプライアンス・ 法律知識</b>	<b>決算書の構造と 会社の数字の 読み方・分析の基本</b>	<b>会計と 意思決定</b>
			
株式会社Y'sオーダー 代表取締役 人材開発コンサルタント <b>藤野 祐美氏</b>	山口利昭法律事務所 代表弁護士 <b>山口 利昭氏</b>	税理士法人GROWLEAD代表社員 税理士、中小企業診断士 <b>石橋 研一氏</b>	プライトワイズコンサルティング合同会社 代表社員、税理士 <b>金子 智朗氏</b>

**◆受講料**

個別受講

SMBC経営懇話会特別会員

44,000円

SMBC経営懇話会会員

50,600円

左記以外の方

59,400円

(税込)

**申込方法**

**開催日の前営業日15時までに弊社「教育サイト」からお申込みください。**

●セミナー名、開催日、プログラム、受講料等が予告なく変更になる場合があります。お申込み時点で定員に達している等の理由によりお申込みいただけない場合があります。また、募集状況によりセミナー開催が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。●自然災害等を理由にセミナーを中止する場合は、開催日前日の15時までにその旨弊社Webサイトに掲載いたします。その場合、受講料は全額返金いたしますが、交通費等のキャンセル料につきましてはお客様のご負担をお願いいたします。●セミナーの最新情報は弊社Webサイトでご確認ください。

2026年8月3日(月)  
2027年2月17日(水)

2026年8月4日(火)  
2027年2月18日(木)

8月5日(水)

2026年8月6日(木)  
2027年2月19日(金)

## 競争優位を築く 経営戦略

### よくあるお悩み

- 現場のことはよく理解しているが、体系的に企業戦略については勉強したことがなく、実はよくわかっていない
- 今の時代に適した経営手法を用いたいと思うが、具体的に自分が何をしたいのかが言語化できない

### セミナープログラム

#### ーディスカッションについてー

- ・来場型のみの実施となり、オンライン上では実施いたしません。
- ・ディスカッションは合計3回を予定しております。  
12分×2回、20分×1回(下記プログラムにてご確認ください)
- ・ディスカッションの結果発表等は聞いていただけます。

### 1 激変するビジネス環境への対峙

1. 何がどうなる？ これからのビジネス環境
2. 経営トップとしてのビジネス環境への対峙  
【ケーススタディ:個人ワーク5分、(来場型のみグループ・ディスカッション:12分)】

### 2 DX、AI時代を生き抜くための経営戦略とは

1. 生き抜くための経営戦略  
(1)経営戦略の基本を知る  
(2)企業戦略と事業戦略のあり方
2. 戦略実現のために  
(1)戦略策定ステップ  
(2)自社の事業理解の深掘り  
(3)経営環境分析:  
PESTLE・SWOT・5forces・3C分析  
(4)事業への影響力  
【ケーススタディ:個人ワーク6分、(来場型のみグループ・ディスカッション:12分)】

### 3 戦略立案に求められる進化とは

1. 経営資源から考える経営戦略: PPM
2. 「人的資本経営」時代の戦略とは
3. 経営資源価値増大のために:  
M&A、アライアンス戦略
4. 新たな戦い方と戦わない戦略:  
ブルーオーシャン戦略から破壊的イノベーションまで  
【ケーススタディ:個人ワーク10分、(来場型のみグループ・ディスカッション:20分)】

## 取締役の責任と コンプライアンス・法律知識

### よくあるお悩み

- 現場一筋で働いてきたため、法律のことがよくわからない
- 忙しく知識も乏しいので、企業経営において法律・コンプライアンス面での重要ポイントを効率よく知りたい
- 役員になると責任が格段に重くなると言われるが、よくわかっておらず怖い

### セミナープログラム

#### 第一部 総論

### 1 取締役の法的責任を 考えるための背景事情

1. 日本再興成長戦略・未来投資としてのガバナンス改革(取締役会改革)
2. 中小会社にも求められるコンプライアンス経営
3. メインバンク、行政による仲裁機能の低下  
~「村の長老」不在で法的責任論に光が当たる時代

### 2 取締役の法的地位について

1. 会社法上の権利・義務
2. 誤解されがちな取締役の責任  
~取締役会の構成員であることに留意
3. 金商法上の責任
4. コーポレートガバナンス・コードとの関係
5. 改正会社法における取締役会改革

### 3 取締役のリーガルリスクを どう考えるか

1. 敗訴リスク 2. 提訴リスク
3. 経営判断のプロセスの合理性こそ重要

#### 第二部 各論

### 1 取締役は誰のために仕事をするのか

1. 「善管注意義務」を具体的な事例から理解する
2. 「内部統制の構築」を具体的な事例から理解する
3. 「重過失」と「過失」の違いを理解する

### 2 ステークホルダーへの配慮 (コンプライアンス経営)

1. 従業員-労務コンプライアンス
2. 消費者、国民-景表法、公益通報者保護法
3. 取引先-独禁法、下請法、不正競争防止法
4. 株主、投資家-会計不正、情報管理(インサイダー規制)
5. 地域-環境法、海外不正問題

### 3 取締役の権利・義務と 「共助の精神」

1. 監査役(監査役会)との関係
2. 代表取締役との関係
3. 会計監査人との関係
4. 幹部社員、執行役員との関係
5. 他の取締役との関係

## 決算書の構造と会社の 数字の読み方・分析の基本

### よくあるお悩み

- 現場の業務知識は深いですが、会計が苦手な数字の読み方がよくわからない
- 会社の決算状況を説明されても、読み方がよくわからないので、実は深く理解できていない

### セミナープログラム

### 1 会計の仕組み

1. 財務会計、制度会計、管理会計のちがひ
2. 計算書類の種類
3. 会計の大原則
4. 財務諸表の限界
5. 役員としての会計との向き合い方

### 2 貸借対照表と損益計算書

1. 決算書ができるまで  
・貸借対照表と損益計算書の関連性
2. 貸借対照表を理解する  
・安全性分析
3. 損益計算書を理解する
4. 会計のルール  
・棚卸資産と売上原価  
・固定資産と減価償却費

### 3 キャッシュマネジメント

1. キャッシュフロー計算書を理解する
2. 役員として知っておくべき資金管理
3. 自社の借入金を分析する

### 4 連結決算の基本

1. 基本的な連結手法
2. 連結決算でグループ全体を俯瞰する

### 5 決算書の分析から見えてくる 会社の姿

1. ROAとROEを理解する
2. 収益性分析から見えてくる会社の姿【ワーク】
3. 安全性分析から見えてくる会社の姿【ワーク】

## 会計と意思決定

### よくあるお悩み

- 管理会計と財務会計の違いがよくわからない
- 設備投資や事業撤退などの意思決定をする場面があるが、何を根拠に判断すればいいかわからない

### セミナープログラム

### 1 会計の種類とそれぞれの目的

1. 会計の種類  
・外部に報告するための「財務会計」  
・マネジメントに役立てる「管理会計」
2. 避けて通れないIFRS(国際会計基準)の影響

### 2 財務諸表の見方・読み方

1. 財務諸表の基本構造  
・主要3表の相互連関  
・貸借対照表(B/S):  
左右の関係と上下の関係  
・損益計算書(P/L):段階的利益計算と各利益の意味  
・キャッシュフロー
2. 収益性  
・「収益性」とは資本利益率である  
・2つの指標 ROAとROE  
・ROAを分解する 実在企業の収益性分析【ケーススタディ】
3. 生産性  
・生産性とは経営資源の活用度  
・ポスト資本主義時代の生産性の意義  
実在企業の実績  
【ケーススタディ】

### 3 意思決定のために会計をどう 役立てるか

1. 意思決定に役立たなければ管理会計ではない  
・比較対象の明確化  
損失額はいくらか【演習】  
・管理会計特有の埋没コストと機会コスト  
追加受注するか否かの意思決定【演習】
2. 管理会計をカタチにする  
強化・撤退すべき部門はどれか【演習】  
・変動費と固定費を分ける  
・固定費を個別と共通に分ける  
・個別固定費を管理可能性で分ける  
・共通部門の予算差異を分離する  
・配賦について考える  
・利益の源泉は顧客  
組織戦略と管理会計  
【ケーススタディ】